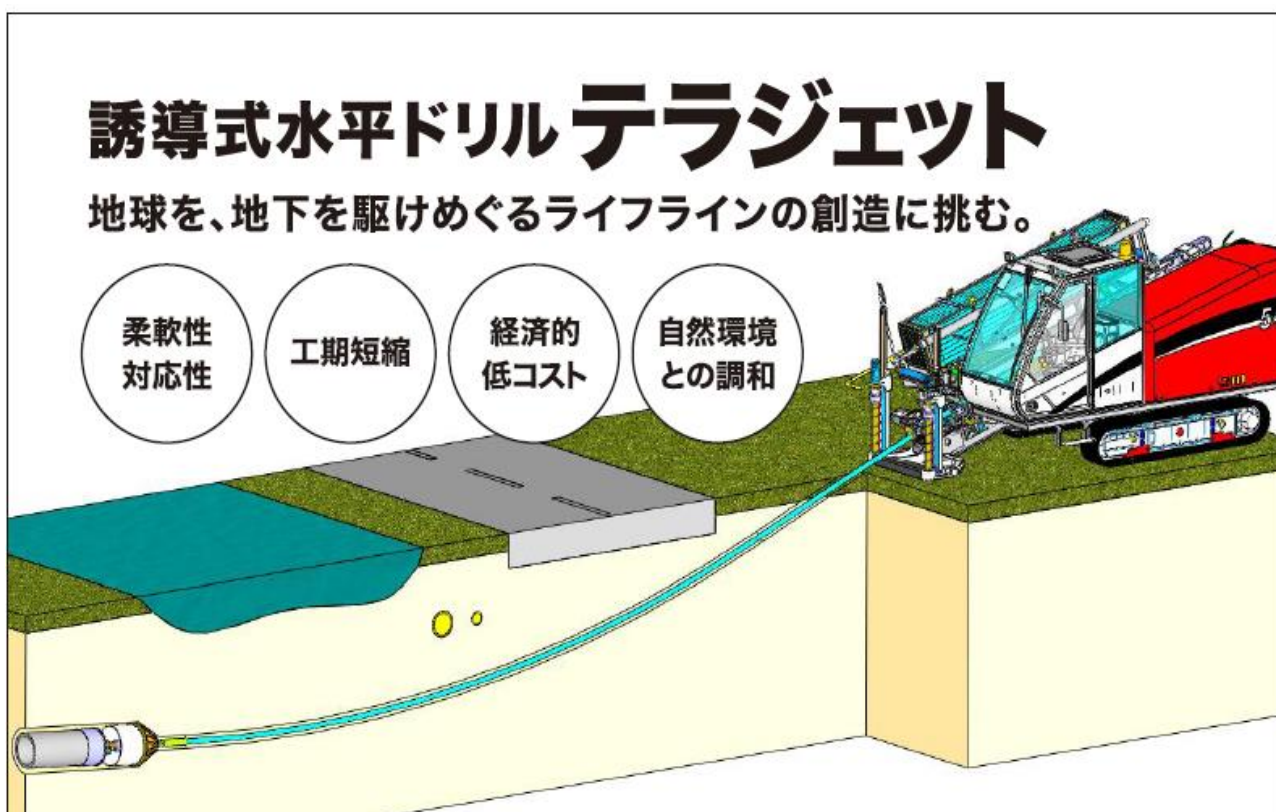




# 株式会社 東洋工務店

2022年度 環境経営レポート

(対象期間:2022年 7月~2023年 6月)



発行日 : 2023年 8月 1日

改訂日 :



株式会社 東洋工務店

# 環境経営方針

当社は、土木工事の分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進し、環境経営の継続的改善に努めます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します(電気、ガソリン、軽油、灯油、LPG)
3. 自社から排出される廃棄物排出量削減を推進します。
4. 建設現場等での建設リサイクル、再生資源の利用を推進します。
5. 水道使用量の削減を推進します。
6. 化学物質使用量の削減(或いは適正管理)を推進します。
7. 環境に配慮した施工技術の開発と顧客への提案を推進します。
8. 地域美化活動への参画を推進します。
9. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日:2022年4月1日

株式会社東洋工務店

代表取締役社長 沖 章史

## 取組の対象組織・活動

### 1. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
株式会社東洋工務店  
代表取締役社長 沖 章史
- (2) 所在地  
本 社 千712-8061 岡山県倉敷市神田2丁目7-45
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 総務部長 沖 全晃 TEL:086-444-7518  
担当者 総務部 三宅 真理 FAX:086-444-4934  
E-mail:honten@touyoukomuten.co.jp
- (4) 事業内容  
○「土木構造物工事」「基礎・仮設工事」「特殊工事」の技術提案及び施工  
○再生可能エネルギー発電事業
- (5) 設立 1968年7月9日
- (6) 資本金 20百万円
- (7) 事業の規模

①建設業 年間売上高 230,811万円(税抜)(2022年7月～2023年6月)

	本社
従業員 (人)	74
延べ床面積(m <sup>2</sup> )	324
敷地面積 (m <sup>2</sup> )	2774

エコアクション21対象従業員数 74名

②再生可能エネルギー発電事業

供給先	年間発電量	地域
中国電力	1,535,637 kWh	岡山県・広島県
中部電力	1,570,318 kWh	岐阜県・長野県・三重県
九州電力	733,461 kWh	鹿児島県
合 計	3,839,416 kWh	

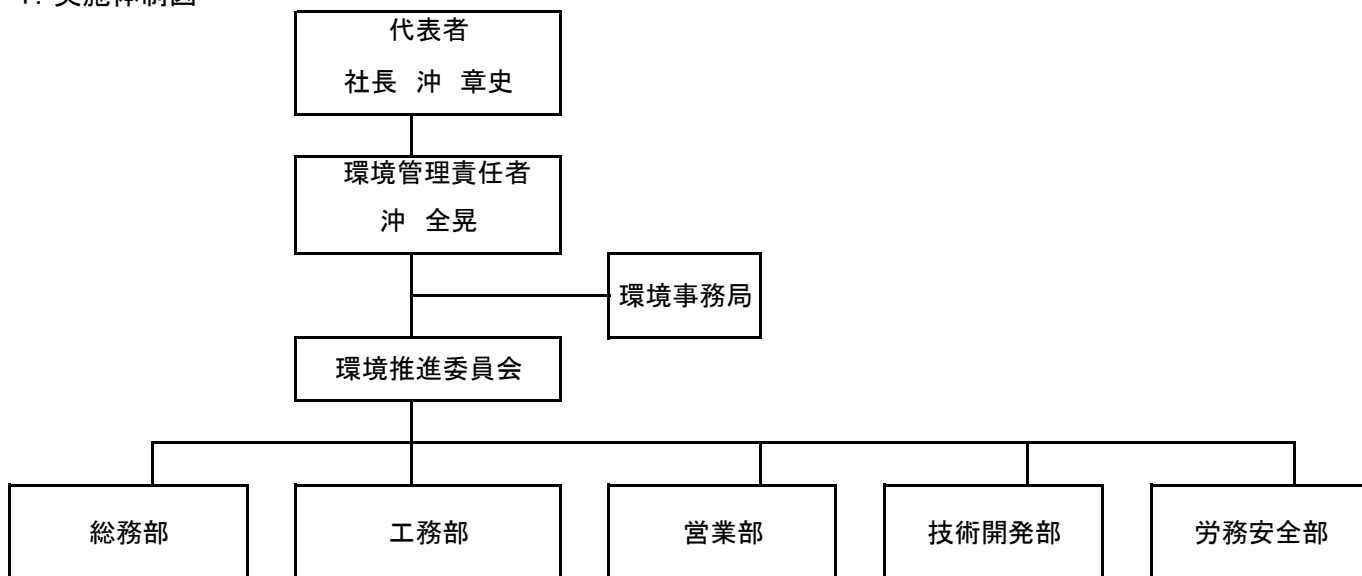
(8) 事業年度 7月～翌年6月

### 2. 認証・登録の対象範囲 : 全組織・全活動

登録組織名: 株式会社東洋工務店  
対象事業所: 本社  
活 動: 土木工事業、再生可能エネルギー発電事業

### 3. 実施体制図及び役割・責任・権限表

#### 1. 実施体制図



#### 2. 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>経営における課題とチャンス の明確化</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規制等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括</li> <li>環境経営計画の実施結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境経営計画の実績集計</li> <li>環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施</li> <li>環境教育訓練計画の作成と実施の管理</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
環境推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営目標、環境経営計画案の審議</li> <li>環境経営の実施状況の評価、見直し</li> <li>環境教育の内容検討、実施結果の評価</li> <li>特定された項目の手順書作成(緊急事態への対応を含む)</li> </ul>
部門長(部長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境経営の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の運用管理</li> <li>自部門の環境上の緊急事態の想定と対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

#### 4. 2022年度 年度始めに策定する環境経営目標と当年度実績の判定、および、次年度の環境経営目標

- ： 年度始めに策定する当年度環境経営目標と中期環境経営目標
- ： 年度終了後の当年度の実績と判定
- ： 年度終了後の次年度環境経営目標の見直し

事業年度:7月～翌年6月

年度始めに策定									年度終了後の次年度目標の見直し	
環境目標	単位	2021年度実績 (基準年度)	2022年度			2023年度	2024年度	2022年度実績 (基準年度)	2023年度	
			目標	実績	判定	目標	目標		目標	
1	二酸化炭素総排出量削減	kg-CO <sub>2</sub> /万円	5.74 (100%)	5.69 以下 (▲1%)	4.56 (▲21%)	○	5.63 以下 (▲2%)	5.57 以下 (▲3%)	4.56 (100%)	4.51 以下 (▲1%)
	二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	1,049,605 (100%)	— —	1,051,457 (+0.2%)	—	— —	— —	1,051,457 (100%)	— —
1 -1	電気使用量	kWh	48,656 (100%)	48,169 以下 (▲1%)	49,224 (+1%)	△	47,683 以下 (▲2%)	47,196 以下 (▲3%)	49,224 (100%)	48,732 以下 (▲1%)
	電気によるkg-CO <sub>2</sub> 削減	kg-CO <sub>2</sub>	25,350 (100%)	22,815 以下 (▲10%)	24,461 (▲4%)	△	21,547 以下 (▲15%)	20,280 以下 (▲20%)	24,461 (100%)	22,015 以下 (▲10%)
1 -2	ガソリン使用量(全社)	ℓ	33,346 (100%)	31,679 以下 (▲5%)	31,889 (▲4%)	△	28,344 以下 (▲15%)	26,677 以下 (▲20%)	31,889 (100%)	30,295 以下 (▲5%)
1 -3	軽油使用量(全社)	ℓ	367,012 (100%)	348,662 以下 (▲5%)	369,385 (+1%)	△	311,961 以下 (▲15%)	293,610 以下 (▲20%)	369,385 (100%)	350,916 以下 (▲5%)
2	自社発生廃棄物 (一般廃棄物の削減)	kg	1,920 (100%)	1,824 以下 (▲5%)	1,390 (▲28%)	○	1,728 以下 (▲10%)	1,632 以下 (▲15%)	1,390 (100%)	1,321 以下 (▲5%)
3	建設リサイクル率の向上	%	49.5% (100%)	54.5% (+10%)	93.4% (+89%)	○	2022年実績により策定 (-)		93.4% (100%)	94.4% (+1%)
4	水使用量削減	m <sup>3</sup>	487 (100%)	463 以下 (▲5%)	527 (+8%)	×	438 以下 (▲10%)	414 以下 (▲15%)	527 (100%)	501 以下 (▲5%)
5	環境配慮工法	件	実績不明	実績把握	15件	—	2022年実績比 +5件	2022年実績比 +10件		
6	HDD工法を20件/年受注する	件	—	—					—	20件

電力の二酸化炭素排出係数は、令和4年度中国電力㈱の調整後排出係数 0.521kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用  
PRTR法対象物質を使用していないので、化学物質に係る目標は掲げません。  
建設廃棄物の排出頻度が少ないため、2021年度の実績把握をする。

## 5. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

取り組み計画	実施状況	次年度	評価結果と次年度の取組内容
<b>二酸化炭素排出量の削減：大幅達成</b>			環境経営を通じた社員教育を継続して行う。
<b>電力使用量の削減：僅かに未達成</b>			
・空調温度の適正化（冷房28℃暖房20℃）	○	継続	照明の節電、省エネ設備への更新を継続して行う。
・太陽光自家消費の設置	○	継続	2023年4月から運用を開始している。
・不要照明の消灯	○	継続	社員教育を通して節電を実行している。
・省エネ家電への切り替え	○	継続	省エネ家電への切替を継続して行う。
<b>ガソリン使用量の削減：4%削減したが、対目標は僅かに未達成</b>			
・業務の効率化	×	強化	現場通勤車両の運用効率化を継続して行う。
・運転者教育	○	継続	安全運転教育を通して使用量削減に繋げる。
・空気圧、オイル等の点検	○	継続	継続して車両の日常点検を実行する。
・低燃費車（ハイブリッド車等）への切替	○	強化	低燃費車への計画的な切替を行う。
<b>軽油使用量の削減：僅かに増加。未達成。</b>			
・業務の効率化	△	強化	施工計画を作成し、関係各所で認知し実行する。
・運転者教育	○	継続	安全運転教育を通して使用量削減に繋げる。
・空気圧、オイル等の点検	○	継続	継続して車両の日常点検を実行する。
・低燃費車（ハイブリッド車等）への切替	△	強化	低燃費車への計画的な切替を行う。
<b>一般廃棄物の削減：大幅達成</b>			
・社員教育	○	継続	現状の認識に重点を置き教育していく。
・紙類リサイクルの推進	○	継続	紙のリサイクルを継続する。
・弁当がらの削減	△	強化	弁当がらの削減を継続して呼び掛ける。
<b>建設リサイクル率の向上：大幅達成</b>			
・木くずと廃プラの分別	○	継続	分別を実行し、引き続き分別を継続する。
・上記廃棄物をリサイクルをする	○	継続	資源の分別を実行しリサイクル率の向上に結び付いた。
・中間処理委託先の探索	○	継続	再資源化が可能な委託先を選定する。
<b>水道水使用量の削減：未達成</b>			
・車輛洗車の節水	×	強化	節水の呼びかけを行う。
・垂れ流し禁止	○	強化	節水型ノズルへの交換を行う。
・社員教育	○	継続	節水活動ポスター等を掲示して意識付けをする。
<b>環境配慮工法の開発と提案：現状把握（当年度実績15件）</b>			
・工事分野別の技術およびノウハウの収集	○	継続	継続して調査し、リストアップする。
・市場顧客情報の調査	○	継続	外部環境の調査を行う。

注) ○よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

## 6. 環境関連法規等の順守状況の評価の結果

主な環境関連法などおよび順守評価結果は、下表の通りです。

環境関連法規等	順守する事項	順守評価
環境基本法	全ての事業活動に関し「環境への負荷」の低減に努める	順守
地球温暖化防止法	CO2等の排出抑制・行政施策に協力	順守
グリーン購入法	できる限り環境物品等を選択するよう努める	順守
大気汚染防止法	規制物質(ばい煙、揮発性有機化合物、粉塵、有害大気汚染物質、自動車排出ガス)を排出する特定施設の届出、規制基準の順守、排出濃度の測定と記録、事故時の報告	順守
水質汚濁防止法	公共用水域への排出水の排出基準の順守、特定施設の届出、水質の測定と記録、事故時の届出	順守
騒音・振動規制法	指定地域内の <b>特定施設の届出</b> 、規制基準の順守	順守
土壌汚染対策法	有害物質使用特定施設の廃止時の土壌汚染状況の調査と報告、土地の形質の変更時の届出、	順守
自治体の残土条例	残土搬出者は残土受入先自治体と協議し土壌汚染状況を事前調査・報告	順守
盛土規制法	土石流等の被害を及ぼしうる区域内の盛土・造成の許可	順守
廃棄物処理法	保管基準の順守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	順守
資源有効利用促進法	建設副産物の再生資源としての利用の促進	順守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出、特定建設資材廃棄物の再資源化義務	順守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用、再生資源利用計画書、実施記録の作成	順守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	順守
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程	対象事業が公共工事の場合排出ガス基準値を満たした建設機械を指定する	順守
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程	対象事業が公共工事の場合低騒音型・低振動を満たした建設機械を指定する	順守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止、規制対象車両の指定地域通行禁止	順守
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	・第1種指定化学物質取扱者は排出・移動量を報告(年間取扱量1トン以上で従業員21名以上の場合・性状及び取扱に関する情報(SDS)の受取・発行	順守
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正な事業者(引取登録事業者)への引き渡し	順守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者(家電販売店)への引き渡し	順守
小型家電リサイクル法	・(使用者)分別し、再資源化を適正に実施するものに引き渡すように努める	順守
消防法	(防火対象物)防火管理者の届出、消防計画の作成、避難訓練の実施、消火設備・火災警報設備の点検整備、避難設備の維持(危険物取扱所)設置許可、技術基準の順守、危険物保安監督者の届出、定期点検の実施と記録の保存	順守
倉敷市火災予防条例	火災発生の恐れのある機器の取扱基準の順守、指定数量未満の危険物・可燃物の貯蔵の届出及び技術基準の順守	順守
高圧ガス保安法	高圧ガス容器置場や充てん容器は、容器置場の技術上の基準に従う。 ・容器の定期検査	順守
道路交通法	道路交通法に定める法律の遵守	順守
道路運送車両法	・自動車の登録・車両の日常点検及び定期点検の実施	順守
労働安全衛生法	・従業員の安全と作業環境の提供・労働安全に定める法律の遵守・有機溶剤	順守
有機溶剤中毒予防則	・健康配慮・有機溶剤主任者選任	順守
粉塵障害予防規則じん肺法	特別教育、呼吸用保護具、じん肺健康診断	順守
労働基準法	労働基準法に定める法律の遵守	順守

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、特定されたすべて法規等が順守されていることを2022年 4月 1日に確認しました。

なお、環境関連法規等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

## 7. 代表者による全体の評価と見直し

当社は、より良い地球環境を次世代に残すことの大切さを社員全員が認識し、エコアクション21活動に取り組んでおり、全体的には、非常に厳しい経済状況の中、多くの項目で目標をほぼ達成したことは、環境の両立を目指す環境経営の実現に向けた良い成果であると評価できます。

しかし、エコアクション21の活動の中では、責任者間では活発な意見の交換、勉強会などが実施されてはいるものの、その他の従業員への浸透は不十分と判断しています。

具体的には、ガソリン使用量・軽油使用量の削減に代表される業務の効率化への意識は定着してきましたが、より一層の業務の効率化活動を推進する上では、今まで以上の従業員一人ひとりの環境意識の向上と取組目的の理解および取組内容の理解が不可欠だと判断しています。

これを達成する上でも、全従業員を対象とした教育の実施、啓発活動を通じた全従業員への活動目的や取組内容の周知徹底と進捗状況の情報開示を進めることが重要であり、定期的な進捗管理と情報公開を確実に遂行することを指示しました。

2023年 7月 1日  
代表取締役社長 沖 章史



## 10. 環境経営活動の紹介



<環境経営方針の掲示板>



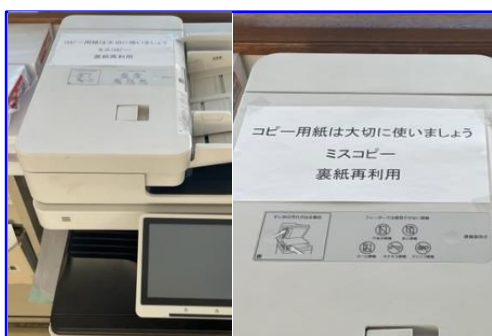
<ごみの分別>



<照明機器のLED化>



<自家消費型太陽光の設置>



<裏紙再利用>



<重機・車両のアイドリングストップ>